

ようこそ！ 公民館へ ～安芸区内公民館～

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」でまちづくりに関する活動をしているグループをご紹介します。今号は、安芸区内公民館で活動しているみなさんです。

1 子育てオープンスペース「サニープレイス」 船越公民館

平成16年度に実施した船越公民館主催事業「子育てサポート養成講座」の受講生が中心になってグループを結成し、平成17年4月から毎月第4月曜日に子育てオープンスペース「サニープレイス」を船越公民館と共催で運営しています。活動を始めて11年目になりました。

子育てオープンスペース「サニープレイス」の中では、毎回、内容を変え、お楽しみタイムを企画し、季節感を感じる水遊びやミュージックベルの演奏体験、子育て中のお母さんがリフレッシュするためのヨガをするなど、楽しい時間を提供しています。このお楽しみタイムを通して、より深く親子同士のふれあいをもつことができ、参加者から好評を得ています。

また、船越公民館の託児ボランティアとしても活動しており、さまざまな形で船越地区の子育て支援に取り組んでいます。こうした活動が評価されて、安芸区役所、公益財団法人広島市文化財団、船越地区社会福祉協議会から表彰していただくことができました。

こうしたことを励みとして、子育て中の親子のニーズをとらえ、今後も子育て支援活動を一層発展させていきたいと思ひます。

皆さまのご参加をお待ちしています。



2 船越誰故草保存会 船越公民館



『藝藩通志』に、鎌倉時代末期、藤原為兼が春の日に安芸国船越の大江谷にさまよい、この花のところせまく咲いているのを見て、「かゝる花の、けうとき山ふところに、たれ故に開く、うらむらさきの、ゆかりの色には咲出るよ」とつぶやいたことから「誰故草」の名が付いたと言ひ伝えられています。

このように船越は古くは誰故草の自生地がありました。植物学者牧野富太郎博士が「誰故草」の名前を知らず「エヒメアヤメ」と命名した所から一般にはこちらの名前が使われています。

「誰故草」は大正時代に絶滅したとされていひ、昭和48年、船越町（現在の広島市安芸区船越）はこの史実を後世に伝えようと町花に選定し、昭和54年7月に「船越町誰故草保存会」を結成し、誰故草復活の取り組みを始めました。

当保存会は、誰故草に関する上記の伝承を後世に伝えるとともに、船越の地では絶滅したこの花の自生地復活を目指して、地元の船越公民館と連携しながら、地域の保育園・幼稚園・小学校・中学校の協力を得て、子どもから高齢者まで幅広い年代の住民の関心を喚起し、誰故草の育成などの取り組みへの参加を促すことにより、地域ぐるみで誰故草の育成・普及を図っています。「誰故草」をキーワードに住民の意識を一つにまとめ、まちづくり活動の活性化に努めています。

具体的な取り組みとしては、誰故草の育成はもちろん、誰故草の開花に合わせて開催される4月のロビー展、6・7月には地域の中学校・幼稚園・保育園への誰故草の移植、8月の地域の夏まつりへ参加し保存会活動のPR等を行っています。

保存会結成から30年を超え、活動内容も

「誰故草の復活」から「自生地復活」に展開しています。その活動はなかなか進みませんが、他の自生地とも交流を深めながら町自慢の「誰故草」を咲かせていきたいと思ひます。

3 大正琴・琴音 中野公民館

私たち「大正琴・琴音」は、平成20年に、大正琴が好きな有志が集い優しい琴の音色を楽しんでもらいたいという思ひから、「大正琴・琴音」という名前でグループを結成しました。

活動日時は、毎月第2・4木曜日の午後1時～4時で、50代からの成人がメンバーの中心です。会員数は若干少ないですが、和気あいあいと活動しています。

普段は中野公民館で練習をしています。老人施設やいきいきサロンでの訪問演奏を年に数回行っており、お年寄りの笑顔や喜ばれている姿が私たちの活動の励みになっています。また、1年間の学習成果の発表の場として公民館まつりにも出演しています。大正琴を通して地域のひとふれあい、まちづくりに関わることができるのも魅力のひとつです。

はじめは、みんな初心者です。大正琴は鍵盤があるので初心者でも正確に音を出すことができ、皆で教え合って少しずつ上達していくというのが私たちの活動方法ですので、初心者も大歓迎です。

何か始めてみようかしらとお考えの方、お友達を作ろうかなと考えている方、私たちと一緒に大正琴を弾きましょう。



グループへのお問合せについては、
各公民館へお願いします。

①② 船越公民館 ☎ 082-823-4261
③ 中野公民館 ☎ 082-893-1234

らしくくレポート

「想ひ」をカタチに！まちづくり学校 [活動編]

まちづくり学校は、ファシリテーター養成講座で会議の進め方について学び、プランナー養成講座では事例を通じてイベント企画について学びました。

その後、カリキュラムは次のステップである活動編へと移り、多種多様な価値観を持った受講生が、講座で学んだスキルを基に企画自体を提案するところから実施していくこととなりました。

当時、広島市では市政123年を迎える年でもあり、「ワン・ツー・スリー」にちなんだ企画や、スポーツイベント、子ども向けイベントなど、受講生から多様な企画アイデアがたくさん出てきて、アイデアを集約する必要が生じました。そこで「ファシリテーター&プランナー養成講座」のノウハウを学んだ受講生の本領発揮です。「イベントの目的」を整理し、「何を伝えたいのか?」「そのために何をするのか?」など、議論の軸を立て、徐々にアイデアを固めていきます。多様な意見は、受講生により内容を拡大したあと、吟味・精査されて次第にまとまり収束していきます。そして「広島のお宝を集めて発信する!」というまちづくり学校第一弾としての一つのテーマにたどり着くことができました。

この決定した「テーマ」に取り組むうえで、新たな課題が発生します。それは「お宝の基準は?、発信する方法は?、お宝の取材方法は?」などさまざまですが、受講生は課題一つずつに対して丁寧な議論を重ねることで意見をまとめ、ウェブサイトを利用して広島のお宝を発信する



▲ファシリテーター養成講座の講義風景

「じゃけぺでいあ・ひろしまお宝大百科」ソーシャルネットワーク版 (<https://www.facebook.com/jakepedia/>) が誕生しました。

翌年には、第2弾として「広島弁」をテーマにして活動しました。同じくウェブサイトでお宝を配信する企画として、転勤や結婚で来広した人向けに、難しい広島弁を面白おかしく解説する「広島弁動画」を製作しました。

アイデアをカタチにするためには一定の法則があります。これからのまちづくりにおいて、議論の軸を立て方向性を見える化するファシリテーターと、想ひをカタチにするプランナーの両方の技術が、必要であり不可欠となってきています。まちづくり学校は、受講生の一人一人が、自身のフィールドで活躍してくださることを願っています。

まちづくり学校の活動編は、さらに翌年、第3弾として新たなお宝発信「ひろしま水都マップ」をテーマとして続きます。次号(3月号)でご紹介させていただきますので、お楽しみに!



▲「じゃけぺでいあ・ひろしまお宝大百科」ウェブサイト版 (<http://jakepedia.wp.xdomain.jp/>)



▲広島弁動画撮影会議～フルースクリーンを活用して～

らしくくコラム Rashikoku column

今や、広く人々に知られるようになった“食育”という言葉は、日本でいつごろから使われ始めたのでしょうか。

これについては、例えば明治時代に発行された石塚左玄著「食物養生法」と、村井弦齋著「食道楽」の2冊が挙げられます。前書では、体育、智育、才育の基本として食育の重要性を、また、後書でも、智育よりも体育よりも食育が大切である、と指摘しています。

その後、“食育”という言葉は広く世間で使われることはなかったようですが、平成17年に制定された食育基本法により、にわかに注目を集めるようになりました。この食育基本法の前文の中で、明治時代の書物と同じように、「食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけられました。

食育基本法が制定されて10年が経った今日、学校や保育所、地域のあちこちで、さまざまな食育活動が展開されています。ここで今一度、食育について、再確認してみます。

“食育”は、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てるとされています。つまり、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくみ、健康で文化的な生活と豊かで活力のある社会の実現に寄与することを目的としているのです。食育は、「自分のため(自分づくり)」であるとともに、「人のため(人づくり)」でもあり、「地域社会のため(まちづくり)」でもあるのです。自分づくりと人づくりの観点からは、豊かな心と豊かな身体づくりを目指し、また、まちづくりの観点からは、豊かなつながりと豊かな地域社会を目指しています。

“食育”で、自分づくり、人づくり、まちづくり

私たちは、食によって命を成り立たせ、健康を維持しています。私たちの暮らしがそれぞれ異なるように、食の姿は、家庭や地域、時間や場などによって異なり、それこそ星の数だけ存在します。このため、食育の分野は、健康増進、環境保全、産業振興、観光振興、教育などとても幅広く、誰もが、いつでも、どこでも、いろいろなことができるのです。

この食育が、地域に根ざして地域に定着するためには、その地域に暮らしている人々の活動がとても重要となります。一人でも多くの人々が、“食”を通して私たちの暮らす地域を見直し、良さをはぐくみ、大切にしていけば、みんなの思ひが一緒になって、広島のまちづくりの原動力になります。

みなさまもぜひ、生涯学習として食育を取り上げ、まず自らができることから、また仲間を誘って食育に挑戦してみませんか。その第一歩が、自分づくりに、さらに、これからの広島の人づくりとまちづくりへと、きつとつながっていきます。

“今のごはんは未来の私”。これは、広島市の食育スローガン(平成20年制定)です。食育活動の合言葉に、ぜひどうぞ!



Profile
比治山大学 健康栄養学部 管理栄養学科
学科主任
前大道 教子 教授

■専門領域／栄養教育論、ライフステージ栄養学
地域住民をはじめ、さまざまな関係機関・団体・組織・企業などが互いをパートナーとして協働し、人々の健康の保持・増進を図り、みんなが住み慣れた地域で生き生きと暮らし、生涯を送ることができるよう、“食”を視座とした健康づくり活動について研究しています。



情報の森



生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に活かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

申込方法 (1) 電話またはファクスにより①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファクス番号)をご連絡ください。先着順により定員になり次第締め切ります。※全回参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っていません。(2) 受付時間: 月～金(祝日を除く) 午前8時半から午後5時15分まで。土曜日・日曜日・祝日・12月29日(火)～1月3日(日)は閉所しています。(3) 申込開始日まではお受けできませんので、下記の表をご確認ください。

申込・問合せ (公財) 広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係
〒730-0036 中区袋町6番36号
☎082-541-5335 ☎082-541-5611

[シティカレッジ]

大学	近畿大学工学部
講座名	Alain de Botton著『The Art of Travel』を英語で読んでみようII
日時	1/30、2/6 土曜(全2回) 15:30～19:00
対象 定員	高校生・大学生・社会人 30人
受講料	無料
申込開始日	12月1日

イベント

広島市青少年センター開館50周年 ヤングフェスタ2016「歴史」 ～未来へのかけ橋～

数多くの青少年グループが活動している広島市青少年センターが贈る、年に一度の一大イベント。

今年もサークルや団体が集い、日頃の活動成果を披露します。登場サークルは小学生から高校生、働きながら趣味を楽しむ青年サークルまで多彩。例えば、陶

芸サークルによる作品の展示・販売や体験教室、大ホールでは2日間の演劇イベント、野外では、ダンスショーやバンドの祭典など見どころいっぱい。

その他、様々なフードメニューの楽しめるブース、けん玉大会、工作コーナーやスタンプラリーなど、参加者自身が体験して楽しめるイベントも多数あります!

今年は青少年センター開館50周年を祝して、例年以上にパワフルなヤングフェスタへぜひ遊びに来てください。

日時 平成28年3月12日(土) 午前11時～午後8時半、13日(日) 午前10時～午後4時

場所 広島市青少年センター・ハノーバー庭園(中区基町)

入場料 無料

※ただし、演劇イベントは1,000円(予定)

共催 YOUNG FESTA 2016 実行委員会

問合せ 広島市青少年センター

☎082-228-0447 ☎082-228-7074



▲YOUNG FESTA 2015の様子

三滝少年自然の家からのお知らせ

①親子でもちつき in みたき

三滝の魅力ある自然を活動に活かし、野外での遊びや観察などを通して、自然に親しみ、また、体験活動を通して個々の家族の絆を深め、他家族と交流することができます。

日時 平成28年1月23日(土)～24日(日)

内容 もちつき体験・キャンドルファイアなど

定員 16家族

対象 小学生以上の子どもとその保護者

参加費 1,800円(保険料、食費など)

申込方法 事業名、郵便番号、住所、電話番号、家族全員の名前とふりがな、性別、年齢、児童生徒は学年を記入し、82円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛名を記入)を同封して下記申込先ま

で郵送してください。

申込受付期間 12月1日(火)～12月15日(火)【必着】



▲体験活動の様子

②冬の星空観察～カノープスを見よう～

三滝の自然環境を活用し、専門講師を招いて、自然体験活動についての知識・理解を深めます。また、野外活動のプログラムを体験しながら意欲関心を高めることができます。

日時 平成28年2月13日(土) 午後7時～9時

内容 冬の星空(カノープスなど)の観察

定員 15人

対象 15才以上(ただし、中学生を除く) ※保険料・資料代などの参加費が必要となります。

申込方法 下記連絡先までお電話で郵便番号、住所、電話番号、名前、性別、年齢、未成年の場合は保護者名をお知らせください。

申込受付期間 平成28年1月5日(火)～31日(日)【先着順】



▲星空観察の様子

③第2回三滝自然ワンダーランド

野鳥、植物、星空など三滝のもつ自然の魅力を活動に活かし、日頃できないような自然体験活動を行い、思い出づくりをしながら絆を深めましょう!

日時 平成28年3月5日(土)～6日(日)
内容 野外炊飯、キャンプファイアなど
定員 42人

対象 小学校3年生～6年生

※保険料・食費・薪代・資料代などの参加費が必要となります。

申込方法 事業名、郵便番号、住所、電話番号、名前、ふりがな、性別、年齢、学校名、学年、保護者名を記入し、82円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛名を記入)を人数分同封して下記申込先まで郵送してください。

申込受付期間 平成28年2月1日(月)～2月16日(火)【必着】

※①②③共通項目

場所 広島市三滝少年自然の家

申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20

☎082-238-6301 ☎082-238-6302



▲野外炊飯の様子

似島臨海少年自然の家からのお知らせ

①家族カキ打ち体験

似島のとれたてカキを自分でうって料理しよう! 新鮮なカキのぷりぷりな食感をお楽しみください。

日時 平成28年2月13日(土) 午前10時半～午後2時

内容 カキ打ち体験、カキ料理作り

定員 20家族(60人)

対象 小・中学生以上とその家族

参加費 一人1,300円(食事不要な幼児は一人100円)

申込方法 事業名、住所、参加者全員の名前(ふりがな)、性別、電話番号、年齢(学年)を記入し、82円切手を貼った返信用封筒を同封して下記申込先まで郵送してください。

申込受付期間 平成28年1月15日(金)～1月29日(金)【必着】



▲カキ料理作りの様子

②家族バウムクーヘン教室

日本におけるバウムクーヘン発祥の地似島において、家族で自然に親しむとともにバウムクーヘン作りを体験し、歴史を学びます。

日時 平成28年3月5日(土) 午前10時半～午後2時

内容 バウムクーヘン作り体験ほか

定員 20家族(60人)

対象 小・中学生とその家族

参加費 一人1,000円

申込方法 事業名、住所、参加者全員の名前(ふりがな)、性別、電話番号、年齢(学年)を記入し、82円切手を貼った返信用封筒を同封して下記申込先まで郵送してください。

申込受付期間 平成28年1月15日(金)～2月12日(金)【必着】



▲バウムクーヘン作りの様子

※①②共通項目

場所 広島市似島臨海少年自然の家

申込・問合せ 広島市似島臨海少年自然の家
〒734-0017 広島市南区似島町字東大谷182番地

☎082-259-2766 ☎082-259-2767

ひがし区出会い・ふれあいフェスティバル

東区で活動する文化団体の多彩なステージや楽しいイベントが盛りだくさん。ぜひご来場ください。

日時 平成28年2月20日(土)～21日(日)
※作品展・遺跡展は2月13日(土)から先行開催(15日(月)を除く)

午前10時～午後6時(最終日は午後4時まで)

内容 舞台発表(音楽やダンスなど幅広いジャンル・年代の60団体)、作品展(絵画、写真、手芸、陶芸など)、遺跡展(東区を中心とした広島市内の遺跡写真等)、地域情報コーナー、バザー(うどん、いなり、もちつき、お菓子、手作り手芸品など)、ふれあいもてなし市[地元野菜直売]【20日のみ】、おはなし会(午前11時から)【20日のみ】、本の交換市(午前11時から)【21日のみ】

場所 広島市東区民文化センター(東区東蟹屋町10番31号)

問合せ 広島市東区民文化センター

☎082-264-5551

広島市二葉公民館

☎082-262-4430

広島ジュニアオーケストラ 第15回定期演奏会

元NHK交響楽団員・元広島交響楽団首席コンサートマスターの小島秀夫が主宰する子どものオーケストラです。現在3歳から高校生までの約60人で活動しています。今回は、ハイドン作曲「ロンドン」他を演奏します。みんなで一生懸命練習してきました。ぜひお越しください。

日時 12月20日(日) 午後1時半開演(午後1時開場)

場所 広島市西区民文化センター(西区横川新町6番1号)

入場料 500円(全席自由)

主な曲目 カノン(バッハ)、主よ、人の望みの喜びを(バッハ)、シンコペテッド・クロック(アンダーソン)、交響曲第104番ニ長調「ロンドン」(ハイドン)ほか

問合せ 広島ジュニアオーケストラ事務局

☎080-1949-1021



▲第14回定期演奏会の様子

自己啓発講習「成功進化論」

人間が本来持っている思考に基づき、自分の理想とする変化を生みだす「成功進化論」。

この講習における「成功」とは、天職を見つけて、自立して、人のお役に立つことを意味します。

今回の講習は1日コースです。

日 時 ①12月23日(祝・水) または②平成28年2月28日(日)のいずれか1日午前9時半～午後8時半

参加費 無料

会 場 広島市南区民文化センター(南区比治山本町16番27号)

申込・問合せ 親子屋(中村)

☎0829-30-6980または090-6844-8660

☎0829-30-5585

MAIL jin.nakamura713@gmail.com

URL http://oyakoya.jp/index.html



▲講習の様子

助成

(公財)広島市文化財団 平成28年度上期文化活動助成事業

市民の皆さんの自主的な文化活動の促進を図るため、団体または個人の文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体 ①文化活動の場が主として広島市内にあること②個人、または団体の構成員の5割以上が広島市内に居住または通勤・通学していること③団体の所在地、または連絡先が広島市内にあること④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること⑤国、地方公共団体および企業等が資本金、基本金その他これらに準ず

るものを出資した法人でないこと⑥非営利団体であること(講師が受講料を募り受講料・会費を徴収する教室等は助成対象外)

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能などの文化活動を行っている団体または個人が行う日ごろの活動の成果を発表する事業(出版物の発行は除く)で次に掲げる要件に該当するもの①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること②非営利の事業であること③政治または宗教活動と関わりのない事業であること

対象事業の実施期間

平成28年4月1日(金)～9月30日(金)

助成金額 助成の対象となる経費の2分の1以内で1件の助成額が20万円以内

応募方法 所定の申請書に必要事項をご記入のうえ、下記お問い合わせ先に提出してください。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

受付期間 12月1日(火)～28日(月)

※受付時間は月～金(祝日を除く)の午前9時～午後5時

申込・問合せ 公益財団法人広島市文化財団 事業課

〒730-0812 広島市中区加古町4-17

☎082-244-0750 **☎**082-245-0246

URL http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/

(公財)マツダ財団第32回市民活動支援募集

(公財)マツダ財団では、次代を担う青少年が、いろんなことに興味を持ち、多くの感動を得ることのできる生活体験の機会の提供や、地域社会づくりのための諸活動を支援しています。

対象となる活動 青少年の健全な育成のための、民間の非営利活動。特に子どもたちの参画度の高い活動、創意工夫を育てる活動、地域でのさまざまなささえあい活動、学校と地域が連携する活動、次世代のリーダーを育てる活動、東日本大震災復興支援活動等を期待します。なお、青少年の範囲は概ね6歳～24歳ですが、「青少年を支援する方々の活動」も含まれます。

募集地域 広島県、山口県

支援期間 平成28年4月1日(金)～平

成29年3月31日(金)の1年間

支援金額 1件当たり10万円～50万円(総額800万円)

応募方法 所定の申請書を(公財)マツダ財団ホームページからダウンロードの上、必要事項をご記入して、電子申請書を作成し、下記申込み先まで、添付ファイルの形式でメールにて送信してください。電子申請が難しい場合は、申請書を郵送してください。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

受付期間 平成28年1月13日(水)【必着】
申込・問合せ 公益財団法人マツダ財団事務局

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1 マツダ株式会社内

☎082-285-4611 **☎**082-285-4612

MAIL mzaidan.sj@mail.mazda.co.jp

URL http://mzaidan.mazda.co.jp/

プラザ主催事業のご案内

社会人のためのまなびCafe

社会人学生の経験者やその支援者、生涯学習の実践者の方々と「学び」「生きがい」について一緒におしゃべりしてみませんか。

日 時 12月12日(土) 午後2時～4時

内 容 講演会、講師・参加者同士の交流会、生涯学習についての相談会

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟5階研修室C

楽し人(タノシビト)のためのあそびCafe

毎月第3土曜日に気軽にお茶をのみながら相談員のみなさんによる余暇を楽しむための話と余暇についての個別相談や「余暇診断シート」を使ったアドバイスを受けることができます。

日 時 12月19日(土)、平成28年1月16日(土)、2月20日(土)、3月19日(土)

いずれも午後2時～3時半

※受付開始は午後1時半～

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟1階ロビー

相談員 広島県余暇プランナー協会会員

まちかどサロン ロビーコンサート

ドリミネーションの夜に贈る、素敵な音楽のプレゼント!

フルート・アンサンブルによる、「クリスマス・キャロルメドレー」「ビジー・サンタ」「主よ人の望みの喜びよ」などのプログラムをお届けします。

日 時 12月5日(土) 午後6時～7時

申 込 不要(入場無料)

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟1階ロビー

各種パソコン講座

エクセル、アクセスなど(全3講座)

申込方法 往復はがきまたはファクスで講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号(ファクスでお申込みの方はファクス番

[パソコン講座]

講座名	①エクセル2013応用講座
日時	1月21日～3月17日 木曜(全8回)19:00～21:00
対象	エクセルの基礎を理解できている方
受講料	10,160円(テキスト代込み)
受付期間	12月1日～1月10日(必着)
講座名	②初めてのアクセス 簡単な管理システムを開発してみよう
日時	1月29日～3月4日 金曜(全6回)19:00～21:00
対象	エクセルの基本操作を理解されている方
受講料	6,500円(テキスト代込み)
受付期間	12月1日～1月10日(必着)
講座名	③新感覚のプレゼンテーションソフト “Prezi”を使ってみよう
日時	3月6日～3月27日 日曜(全4回)13:30～15:30
対象	パソコンの基本操作とマウス操作のできる方
受講料	4,500円(テキスト代込み)
受付期間	1月15日～2月25日(必着)

号)を記入のうえ申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)へお申込みください。③の講座は、託児があります。託児(1歳半以上の未就学児)を希望の場合は子どもの年齢を記入ください。

定 員 各講座38人(申込多数の場合は抽選)

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方や基本的なパソコン操作に自信のない方を対象にパソコンを無料開放します。会場にはボランティアがいますので、気軽にどうぞください。

日 時 原則、偶数月の日曜日

午後1時半～4時半

参加費 無料

申 込 不要

※パソコンの開放台数は20台

※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

アートルネッサンス2016

アートの持つ力で真の社会の豊かさ・幸せを生み出す活動を広く社会に投げかけていくことを目的に開催する作品展です。中国5県から障害のある人の芸術作品を公募し、豊かさ・新鮮さ・しなやかさの3つの観点で審査員による選考を行い、その中の入選作品を展示します。

たくさんの方々と協働でつくる「アートルネッサンス2016」にぜひご来場ください。



▲展示の様子

日 時 平成28年2月6日(土)～14日(日)

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟4階ギャラリー

入場料 無料

公民館学習グループ等交流作品展

広島市内の自主学習グループが、日頃の学習の成果を発表する場として、作品展を開催します。公民館等で活動しているグループのみなさんのすばらしい作品をご覧ください。

日 時 平成28年2月20日(土)～26日(金)午前10時～午後7時(最終日は午後4時まで)

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟4階ギャラリーB

入場料 無料

メールマガジンのお知らせ

プラザでは、「ひろしま情報a-ネット」によるメールマガジンで最新の情報を発信しています。「ひろしま情報a-ネット」は、市民活動・生涯学習を支援する総合ポータルサイトです。

メールマガジンによる情報提供をご希望の方は下記URLよりご登録ください。

URL http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

合人社ウエンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)

〒730-0036
広島市中区袋町6番36号
☎082-545-3911
☎082-545-3838





ロビーコンサート開催



▲コンサートの様子

9月は、第1回として、広島市を中心に活動している若き音楽家の2団体によるアンサンブルステージを開催いたしました。第1部は「Shiny saxophone quartet」による深みのあるサクソフォン四重奏、第2部は「ももご☆ばらだいす」によるバリ・チューバ四重奏による重厚な音色をお届けし、秋のロビーを飾りました。

当日は天候にも恵まれ、幅広い年齢層の多数の方にお楽しみいただくことができました。ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオ製作のアニメ映画「アナと雪の女王」で流れた「Let It Go～ありのままで～」の演奏では、子どもがチューバに合わせて歌い出すほほえましい光景などもみられました。また、「銀河鉄道」や「情熱大陸」な

9月27日(日)に当プラザ南棟1階のロビーを会場として「まちかどサロンロビーコンサート」を開催いたしました。このコンサートは、施設のロビーを有効活用して、生涯学習やボランティア、まちづくり活動団体等の日頃の成果を気軽に発表できる場を提供することで、市民の皆さんの活動に対する理解を促進するとともに、プラザに気軽に立ち寄っていただく機会とするために実施しています。

どの演奏では、瞳を閉じて情景を描きながら聴かれている方もいらっしゃいました。両団体による迫力のある生演奏をご堪能いただけたと思います。

12月5日(土)には、第3回として、フルートアンサンブル(Flutes × Fruits)によるフルートの盛り合わせのようにポップでおいしいコンサートを開催する予定です。ご期待ください。

「社会人のためのまなびカフェ」開催

生涯学習相談会「社会人のためのまなびカフェ」は、前半に社会人学生の方やその支援者、生涯学習の実践者にその経験を講演していただき、後半は参加者、講演者、相談員がお茶を飲みながらお互いの経験や考えを気軽に話し合うカフェ形式の事業です。



▲相談会(講演)の様子

9月に開催した今年度第1回は「継続は力なり!習慣を継続することで『なりたい自分』に」というテーマで、朝活などを実践している福田浩之さんに講演していただきました。福田さんは、仕事の傍ら、「朝活読書会」や「新聞を読む会」などに参加、自宅でも365日できる朝活として著名人の書籍の書き写しなどを行われており、学習を習慣化させることの大切さについてお話しいただきました。

福田さんの講演をお聞きした後は、お茶を飲みながら、講演を聞いた感想や質問、自分たちの経験などについて、講演者や相談員も含めて意見を交換し合い、和気あいあいとした交流会になりました。

「社会人のためのまなびカフェ」は、年間3回開催しており、次回は12月12日(土)に開催予定ですので、ぜひ皆さんご参加ください。

※12月開催のロビーコンサート、まなびカフェの詳細は、「情報の森」にてご案内しております。P13・14をご覧ください。

募集しています!

「らしく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「3月下旬発行予定」です。4月以降の情報をお待ちしています。下記の合人社ウェンディひと・まちプラザまでお送りください。[1月末日必着]

合人社ウェンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

●開館時間
午前9時30分～午後10時

●休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

●ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp

〒730-0036 広島市中区袋町6-36

TEL:082(545)3911(代表)

TEL:082(545)3913(施設予約受付専用)

FAX:082(545)3838

